

こんにちは



議会です!

きたもと議会だより



第17回さくらまつり

昨年は東日本大震災の影響で中止となりましたが、4月7日、8日の2日間、高尾さくら公園において「さくらまつり」が開催されました。(主催：北本市)

第5回なの花まつり

さくらまつりと同日、高尾7丁目地内において「なの花まつり」が開催されました。天気にも恵まれ、たくさんの人でにぎわいました。(主催：北本市景観作物振興会)



主な内容

- 3月定例会…
- 一般質問… ~
- 委員長報告… ~
- 提出案件の結果等…

会期日程

- 2月20日(月)本会議(開会)
- 2月21日(火)議案調査日
- 2月22日(水)議案調査日
- 2月23日(木)議案調査日
- 2月27日(月)本会議(総括質疑)
- 2月28日(火)本会議(委員会付託)
- 2月29日(水)委員会(保健福祉)
- 3月1日(木)委員会(総務文教・建設経済)
- 3月2日(金)委員会(総務文教・建設経済)
- 3月5日(月)委員会(保健福祉)
- 3月7日(水)本会議(一般質問)
- 3月8日(木)本会議(一般質問)
- 3月9日(金)本会議(一般質問)
- 3月12日(月)本会議(一般質問)
- 3月14日(水)本会議(閉会)

No 80

平成24年(2012)5月1日発行
 編集 議会だより編集委員会
 発行 北本市議会
 北本市本町1-111
 TEL 048-591-1111
 FAX 048-591-6335
www.city.kitamoto.saitama.jp/

3月定例会

平成24年度

一般会計予算を原案可決 6 特別会計予算を原案可決

一般会計予算は189億円、前年度比0.2%の増

2月20日から3月14日までの24日間の会期で開かれた定例会では、市長提出議案32件、議員提出議案3件、委員会提出議案1件、請願2件を慎重に審議しました。
特に、北本市自治基本条例に基づき制定される3議案を含む4議案が総務文教常任委員会に付託されましたが、閉会中の継続審査となりました。

今定例会で審議された市長提出議案のうち、質疑がなされた議案について、その主なものを掲載します。

議案第1号 平成24年度北本市一般会計予算について

総括質疑通告者

- 黒澤健一(平成会)
- 中村洋子(共産党)
- 岸 昭二(公明党)
- 工藤日出夫(市民の力)
- 金子眞理子(民主北本)
- 大澤芳秋(政策北本)
- 桂 祐司(無所属の会)

通告順に掲載

Q、「めざせ日本一、子育て応援都市宣言」の決議によって平成24年度予算に反映されたものについて

A、宣言の中に、「安心して子どもを生み、育てることができるまちづくりに取り組み」とあります。子育てしやすい環境づくりのためには保育サービス等の充実が必要であると考えています。

子育て支援センターの機能をあわせ持つことにより、本市の子育て支援の拠点として期待される施設です。

ゼロ歳児保育を含む通常保育に加え、児童が病気の回復期にあつて、保護者の就労等により保育に欠ける児童を一時的に預かる病後児保育事業、保護者の就労や疾病等により一時的に保育に欠ける就学前の児童を預かる一時預かり事業の2事業を実施するほか、市内で3か所目となるステーション保育事業、公立保育所としては初めて3歳児クラス以上に主食の提供を行い完全給食を実施します。

また、子育て支援センター

では、親子でつどえるサロンの開催、子育てサークルへの支援、子育てに関する相談や子育てに関する情報提供等を行います。

平成24年度予算では、子育て支援拠点事業経費として2,211万5,000円を計上しました。

次に、民間保育園の安定した保育環境の充実に向けた支援としましては、平成24年度当初でゼロ歳児の定員に対する入所状況が未充足となっている現状を踏まえ、一定の助成を行うこととしました。

放課後の児童対策としまし

では、学童保育室を運営するNPO法人北本学童保育の会うさぎっ子クラブへの委託、指定管理者制度を導入して2年目となる障害児学童保育室の運営助成を行うことで、保護者の就労等により保育に欠ける児童の健全育成に努めていきます。

また、(仮称)こどもプラザの整備については、平成26年度の完成を中途に事業を推進しており、平成24年度予算では、建築確認申請等の業務経費として75万6,000円を計上しました。

【紹介】

今定例会において同意されました方々を紹介します。

埼玉県中央域公平委員会委員

住所 鴻巣市宮地4丁目12番2号

氏名 長島敏雄氏

副市長

住所 さいたま市北区土呂町

2丁目33番6

氏名 西岡利浩氏



4月に開所した東保育所の入園式の様子

市政に対する一般質問

今定例会から、一問一答方式を導入し、従来の一括質問一括答弁方式との選択制で実施しました。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずぬもので、定例会に限って行われます。

今定例会では、17人の議員から78件125項目について質問がありました。

その中から主なものの答弁を掲載しました。

市内交通網の空白解消

問1 デマンドバスの利便性向上について

答1 現時点では予約が取りづらくなっていますが、特定の場所や時間に乗降場所を限定するなど、制度の見直しを行うことで、現在

より利用者数が増え、予約も取りやすくなると考えます。

現在の利用方法をできるだけ維持しながら利便性の向上を図れるよう今後も努めていきます。

問2 ドア・ツー・ドアになっっているのか

答2 自宅を乗降場所に設定し、玄関の最寄りのところまで送迎することを基本としていますが、市にとつ

ても運行する業者にとっても、安全確保が大前提となります。

デマンドバスの乗務員は、運転手のみですので、車両がすれ違えない場所、通行が頻繁で停車がなかなかできない場所、通り抜けが困難な場所等については、安全性を考慮し、乗車場所には、確実に乗り降りできるところを設定しています。

農業振興

問1 農業農村整備事業について

答1 西部地域で実施している農業農村整備事業は、各自治会から提出していただいた整備要望路線を取りまとめ、費用対効果や現地

調査による整備の必要性などを考慮し、4本の農道整備を計画したものです。平成23年度は、高尾5丁目地内の農道整備工事を実施し、平成24年度以降に石戸宿8丁目地内、高尾9丁目地内の農道整備を予定しています。

問2 周辺住民への周知はどうなっているのか

答2 地元の皆様と説明、協議を重ねて速やかに実行

していきたくと考えています。

問3 青年就農給付金とは

答3 国の農業は、基幹的農業従事者の高齢化が進展しており、持続可能な力強い農業を実現するために将来の日本農業を支える人材を確保することは急務とされています。そこで、平成24年度から就農前後の青年就農者を支援する青年就農給付金が実施されることになりました。

3月定例会 一般質問

質問通告順に掲載

大嶋達巳(政策北本)

・放射線物質

・電気料金

・災害時要援護者

他1件

滝瀬光一(平成会)

・西中央通線の整備及び有効利用

・北本総合公園野球場の整備

・市道25号線(アースドリーム地区)の横断歩道整備

他1件

桂 祐司(無所属の会)

・(仮称)北本市都市景観賞の創設

・防災拠点としての新庁舎整備の緊急性

現王園孝昭(政策北本)

・北本市の保育行政

・救急医療機関の充実へ向けた支援

他2件

大澤芳秋(政策北本)

・高崎線桶川・北本間新駅設置

・市税増収対策

・中学校での武道必修化に向けて

他1件

伊藤堅治(平成会)

・石戸城跡整備

・北本水辺ブラザの管理

・コウノトリ放鳥に係る調査

他1件

武道必修化

武道に積極的に取り組むことを通して武道の伝統的な考え方を理解し、相手を尊重して練習や試合ができるようにすることを重視する保健体育科の授業です。



問1 中学校の武道必修化とは
 答1 平成24年度から中学校において新指導要領が実施となり、全生徒に武道を指導することになります。

問2 安全管理は

答2 授業を担当する教員の専門性や指導力向上、活動における安全管理や事故防止に対する一層の意識、注意喚起が重要と考えています。特に柔道に関しては、活動中の安全管理、事故防止について十分な配慮と注意のもとで行います。女子も必修となりますので、その指導が重要になります。安全管理や事故防止は、

複数体制による指導と専門的な指導者等の活用が有効です。4月以降開催予定の国や県の講習会等に担当教員を積極的に派遣します。また、北本市においても柔道専門家の講師による講習会等を実施し、教員の指導力の一層の向上と指導計画の改善、安全かつ効果的な指導方法の確立を図ります。

災害時 要援護者

に取り組んでいます。現在のところ、3月末までのシステム導入に向けて業者との調整等を進めているところです。

問2 災害時要援護者の登録

答2 福祉課、高齢介護課にある65歳以上の介護保険第1号被保険者数、約1万5,000件のデータや障害者手帳等の所持者数、約2,500件のデータ等を

一括抽出し、システムに反映させ、基礎データとしていきます。なお、これは個人情報であることから、個人情報保護審議会を通じて実施していく予定です。

要援護者の対象者については、制度の創設については、制度の創設について広報等で周知した後、自ら要援護者名簿等への登録を希望された方の情報を収集する手上げ方式で登録するか、自治会、民生委員、児

童委員等が要援護者本人に直接的に働きかけて必要な情報を収集するか、本人の同意方式で登録するかの方法で、システムに対象者を登録し、活用したいと考えています。



高橋節子(民主北本)
 ・防災と消防団の強化
 ・リバースモーゲージ制度の導入
 ・福祉施設で製造しているEM活性液の活用の拡大
 他1件

金子真理子(民主北本)
 ・北本市企業誘致促進条例
 ・セーフティコミュニケーション制度の推進
 ・北本駅西口広場の管理
 他1件

中村洋子(共産党)
 ・国民健康保険税の軽減に変えて滞納率が下がったか。また、今後の課題
 ・介護保険計画の見直し
 ・幼児問題審議会の答申と今後の保育行政
 他1件

湯澤美恵(共産党)
 ・通学路の環境や安全に対する要望にどう対応しているのか
 ・グリーノ北本ファクトリー周辺の環境問題
 ・市の融資制度(特別小口資金)の利用状況
 他7件

渡邊良太(無所属の会)
 ・市内産婦人科問題
 ・土曜補習学習
 ・国際交流
 他7件

島野和夫(公明党)
 ・軽・中度難聴者への補聴器購入費助成事業
 ・自転車走行環境の整備
 ・新駅設置促進
 他2件

福島忠夫(平成会)
 ・氷川神社から高尾保育園まで(市道5198号線)の整備
 ・南団地下水处理場の利用計画
 ・市内事業所社員の消防団への加入のお願い
 他6件

産婦人科の現状

問1 お産が出来る医療機関について

答1 市内では北里大学北里研究所メディカルセンター病院のみとなっております、市外では鴻巣に診療所が1件、上尾には病院が1件と

診療所が3件です。北本市民の産科受診動向は、平成23年4月から11月の8か月では北里研究所メディカルセンター病院が32・7%、上尾市内の産科診療所が25%、鴻巣市内の産科診療所が13・2%、上尾市内の診療科目に産科を有する病院が2・6%という状況です。

問2 産科医等手当支給支援制度を予算化したが、市内分娩は改善されるのか

答2 この制度は、減少傾向にある産科医について分娩手当等の改善を行い産科医の確保を目的に国が平成21年4月に創設した制度で、基準額として一分娩あたり1万円となっております、北里研究所メディカルセンター病院が支給条件に該当しま



す。産科医の処遇改善が図られ、市民が地元の病院で安心してお産ができるよう期待するものです。昨年秋の分娩予約制限については、その後職員数の確保を行い、従来どおりの業務を継続できるとの報告をいただいています。今後、病院と情報交換をしながら、行政として出来る支援、すべき支援はあるか考えていきたいと思っております。

野球場の整備

問1 議会の請願採択をどう捉えているか

答1 平成19年12月議会で、防球ネットの設置について市野球連盟会長より請願が議会に提出され採択されました。それ以降、防球ネット

の整備について検討を重ねてきました。財源の確保といった大きな課題もあり、早期での整備は難しい状況です。

問2 打撃実験調査の結果は

答2 硬式球による打撃実験を実施してデータを解析し、防球ネットを設置する場合の概算工事費までの調査結果を得るための業務を委託したところです。

問3 整備のための財源をどうやって確保するのか、この行政課題にどう取り組むのか

答3 整備費用として3億2,000万円かかりますが、補助もない事業で単独の財源を捻出する方法を、今慎重に検討しています。

問4 「安全上の制限」をいつまでも担保しておいて良いのか

答4 来年度中の目途は今



総合公園野球場の様子

のところ立っていませんが、知恵や工夫を凝らして何とかできる方向に向けて、検討を進めていきます。

傍聴のご案内

議会では、皆さんの生活に密着した重要な問題を審議しています。身近な市政を知るためにも、議会を傍聴してみませんか。

- ・高橋伸治（市民の力）
- ・社会教育関係団体
- ・住民票・印鑑証明のコンビニ交付
- ・（仮称）こどもプラザの活用
- ・保角美代（公明党）
- ・めざせ日本一、子育て応援都市宣言
- ・セーフコミュニティ認証取得に向けた具体的な展開
- ・市内交通網の空白地区解消
- ・黒澤健一（平成会）
- ・行政改革として指定管理者制度の活用
- ・住居表示・地名地番の整備方針
- ・総合公園の整備
- ・工藤日出夫（市民の力）
- ・本市の人口動態について
- ・人口動態の推移は、今後の市政運営にどのような影響が出ると考えるか
- ・公有財産である教室等の資産は合理的に有効活用されているか
- 他4件

6月5日（火）

開会の予定です。

次回の定例会は、

総務文教

「小中一貫教育」

Q．北本市が実施する小中一貫校について

A．北本市が目指す小中一貫教育は連携型と呼ばれるものです。建物は別々に置きながら、教員がそれぞれ兼務をしたり、子どもたち同士が交流を図ったり、カリキュラムに一貫性を持たせるなどの取組みが連携型であり、近年、多くの学校でその研究が進められており、文部科学省でも今後は大きく発展していくことを表明しています。また、埼玉県教育委員会においても、来年度から事業として立ち上げるものです。

小中一貫教育を導入した背景には、不登校、学力、非行・問題行動などの様々な問題がありますので小中一貫教育を取組むことによってこれらの問題の解決を図っていきます。

「デマンドバス」

Q．運行範囲及び時間の拡大について

A．桶川市や鴻巣市の病院等まで拡大できないかとの要望につきましては、地域公共交通会議の中で、要望の多い近隣自治体の病院について検討していきたいと思えます。

しかし、関連する自治体やバス会社、タクシー会社などの関連企業との協議が必要となってくるので時間を要するものと考えます。

また、時間延長についても要望はありますが、タクシー業界に影響を与えてしまうことからかなり難しいと考えます。



普通車型のデマンドバス

保健福祉

「介護保険」

Q．介護保険歳入の特徴について

A．介護保険条例の改正に伴う介護保険料が大幅に伸びたことが大きな点です。また、北本市については、これまで交付されてこなかった調整交付金が平成18年度以降はじめて交付されることとなりました。この調整交付金は、介護保険法第122条の規定により介護保険の財政調整を行うということで、第1号被保険者の年齢階級別の分布状況、それから所得分布状況等を考慮し、国から交付されるものです。介護給付費及び予防事業の約5%、455万5,000円を計上しています。そのほか、介護給付費等の伸びによる国県支払基金の伸びが、歳入における特徴的な点です。

Q．介護保険料改定の理由について

A．国では介護報酬において、在宅については1.0%、施設については0.2%の引き上げがあり、また、第1号被保険者の負担割合、20%が21%になったということ、市としては特別養護老人ホームの整備など施設整備を行うために介護保険料を引き上げることとしました。

Q．改定にあたって配慮したことについて

A．市で配慮した点は、第3段階においては、国の基準で0.75となっているものを、0.70に引き続き据え置いたことや、さらに第3段階に特例を設け、率について0.60を設定したことなどです。その他、基金を取り崩し、1億6,000万円を充てることで、保険料の上昇を少しでも抑えることとしました。

建設経済

「西口駅前広場」

Q．駅前広場改修工事についてはどのような作業を予定しているのか。また、これまでにかけた事業費はどうだったのか

A．駅前広場改修7,000万円については、最終的な工事となりますが、歩道部分のインターロッキング施工、また、南小通り線との交差点部分の信号機周辺の舗装改修等をするための予算となります。今年の10月くらいには工事を完了する予定です。

また、当初、全体の事業費については約6億3,700万円を超える額で説明させていただきました。現在の契約額を累計すると確定ではありませんが、平成24年度の予算も含めて約5億1,200万円となっていることから約1億2,500万円、当初に比べ下回る状況となります。

これは、西口のシェルターの部分の仕様について華美にならないよう見直しをかけたこと、また、入札を執行した際の落札減等となったことが大きな要因と考えています。



タクシーのりばからみた西口駅前広場の様子

特別委員会の報告

庁舎等建設特別委員会

Q．今後の計画について

A．（仮称）こどもプラザのメインテーマは、子育てを通して、みんなをつなぐ多世代交流拠点、従来のあそびの拠点としての図書館、児童館の垣根を越えて、子育て支援活動拠点、市民活動拠点としての性格を併せ持った「市民にやさしく、頼りになる施設」をコンセプトとしています。

同時に、「光や風があふれる子育てに最適な環境づくり」や「庁舎に隣接する建物として地震に強い構造」についても計画しています。議会スペースについては、会派控室を現在の会派に対応しました。

平成24年度における庁舎に係る予算については、3か年の継続費とし、工事の発注については、6月中旬に公告し、10月頃には議会承認を経て発注する予定です。

庁舎南側と北側の2か所に縄文式住居が出てきました。4月10日頃から本掘調査に入り、日程的には1か所に約3か月程度を要するとのこと。

姉妹都市である会津坂下町との友好の証しを議場に表現することについて検討します。

新庁舎に隣接する（仮称）こどもプラザ【イメージ】



主な提出案件の結果一覧

議 案 名		議決結果	平成会	公明党	政策北本	日本共産党	無所属の会	市民の力	民主北本
市長提出議案	平成24年度北本市一般会計予算	可決				×			
	平成24年度北本都市計画事業久保特定土地区画整理事業特別会計予算	可決				×			
	平成24年度北本市介護保険特別会計予算	可決				×			
	組織機構の改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決							
	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	修正可決							
	市長及び副市長の給与等に関する条例及び北本市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正について	可決							
	北本市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部改正について	可決							
	北本市介護保険条例の一部改正について	可決				×			
	平成23年度北本市一般会計補正予算(第6号)	可決				×			
議員・委員会提出議案	北本市基本構想を議会の議決事件と定める条例の制定について	可決							
	県道の北本市内における整備促進を求める意見書	可決							
	国際協同組合年を契機に「協同労働の協同組合法」の早期制定を求める意見書	可決							
	都市再生機構賃貸住宅(旧公団住宅)を公共住宅として継続し、居住者の居住の安定を求める意見書	可決							
請願	公的年金の改悪に反対する意見書を求める請願	不採択	×	×	×		×	×	×
	都市再生機構賃貸住宅(旧公団住宅)を公共住宅として継続し、居住者の居住の安定を求める意見書提出を求める請願	採択							

* 上記以外に23件の議案審議がありましたが、いずれも起立及び挙手全員により原案のとおり可決・同意しています。

は議案に対して賛成の会派
 ×は議案に対して反対の会派
 は議案に対して賛成と反対のあった会派

継続審査の結果一覧

議 案 名		議決結果	平成会	公明党	政策北本	日本共産党	無所属の会	市民の力	民主北本
市長提出議案	北本市パブリック・コメント手続条例の制定について	継続審査							
	北本市執行機関の附属機関に関する条例の一部改正について	継続審査							
	北本市市民参画推進条例の制定について	継続審査							
	北本市協働推進条例の制定について	継続審査							

【継続審査とは】

議会の活動は、原則として会期中に限定されていますが、「継続審査を要する」とされた案件があった場合には、閉会中に委員会が活動することを認めるかどうかについての採決が行われます。採決の結果、継続審査が認められた場合には、付託先委員会は、閉会中に継続審査を行い、その結果、結論が得られた場合には、次期定例会に審査結果を報告します。

は議案の継続審査に対して賛成の会派
 ×は議案の継続審査に対して反対の会派
 は議案の継続審査に対して賛成と反対のあった会派

会派の議員数
 平成会【6人】 公明党【3人】 政策北本【3人】
 日本共産党【2人】 無所属の会【2人】
 市民の力【2人】 民主北本【2人】

委員	副委員長	委員長	議会だより編集委員
金大	桂高	保黒	
子嶋	橋村	角澤	
眞達	祐伸	洋美	
理子	巳司	治子	

編集後記

市民の役割は、市民の生活に関わる極めて広い分野で、市民を代表して、意思決定することにあります。市議会が間違っただけで、市民生活にはマイナスの影響がでます。大変重たい責任を負っているのが議会です。

市議会には、年間約100件の議案が提案され、議員個人、保健福祉・総務文教・建設経済の3つの常任委員会、そして本会議での3段階の審議を経て、賛成か反対かの重い判断をしています。

この議会だよりは、面白可笑しい読み物ではありませんが、私たちは真摯な気持ちで、議会活動の概要を、市民の皆様にお伝えしています。(伸)